

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4170100699
法人名	社会福祉法人佐賀キリスト教事業団
事業所名	グループホーム シオンの園「水ヶ江」
所在地	佐賀市水ヶ江4丁目2番21号 (電話) 0952-41-5101

評価機関名	社団法人 佐賀県社会福祉士会		
所在地	佐賀市八戸溝1丁目1224-2		
訪問調査日	平成 19年11月13日	評価確定日	平成 20年1月16日

【情報提供票より】(平成 19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 5 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	7 人	常勤	4 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 5.4 人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000~30,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円	
敷金	有() 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(11月13日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名	
要介護1	2 名	要介護2	0 名			
要介護3	5 名	要介護4	1 名			
要介護5	1 名	要支援2	0 名			
年齢	平均	84.5歳	最低	71歳	最高	102歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	鶴田内科 栗林歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市の中心部の市街地に位置し、近くには学校、文化施設や商店も多い。木造二階建てのホームで、二階部分が居室になっている。居室に続くベランダには椅子を配置して日向ぼっこが楽しめるよう配慮されている。玄関周りには季節の花が植えられたプランターや鉢物が並べられ訪れる人の心を和ませている。法人内の三つのグループホームの交流が密で、サービスの質の向上、職員研修体制の確立等に向けた研鑽が共同で行われている。家族が頻繁に訪問され、ホームとの情報交換も行いやすい良好な関係ができています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価では、前回の結果を踏まえ、改善が必要な部分には全体で話し合いを持ち、前向きに取り組まれている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員会議で自己評価を実施する意義について理解し合い、全員で自己評価に取り組まれている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>利用者やサービスの提供等についての話し合い、意見交換は行われているが、評価についての取り組みや地域の理解と支援を得るための話し合い等はまだ行われていないようである。今後、自治会長等地域住民の代表にも参加を呼びかけて、地域の理解と支援を得るための体制づくりが期待される。また、運営推進会議が自己評価や外部評価に関する改善経過のモニター役として機能するよう期待したい。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>紙面以外に口頭での意見等は「苦情受付書」が作成され、すぐに改善の取り組みが行われる仕組みになっている。また、法人で発足している第三者による苦情解決委員会を活用するなど、外部機関に表す機会も設けられている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の自治会に加入されている。保育園児との交流や近隣の人々と日常的な挨拶は交わされていたが、入居者が地域の一員として自治会、地域の行事へ参加できる段階にまでは至っていない。今後、入居者が地域の多くの人々と交流できるよう情報の収集を行い、ともに支え合う関係を築いていかれるよう期待したい。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、利用者の有する能力に応じて自立した生活を営むことができるように支援するという理念を事業所独自につくりあげられている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常的に申し送りの際に理念に触れるようにし、さらに職員会議で職員全体で話し合いがもたれるなど理念の共有のための取り組みがなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入されている。保育園児との交流が年数回行われている。また、近隣の食料品店で食材を購入し顔なじみになり日常的なあいさつが交わされるなど地域との交流はあるが、自治会、地域の行事等への参加はまだなされていなかった。	○	地域の多くの方々と交流できるよう地域の各種行事の情報を集め、入居者が地域の一員として自治会や老人クラブ等の行事にも参加して支え合う関係ができるよう図られることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会議で自己評価及び外部評価を実施する意義について話し合いがなされ、全員で自己評価が取組まれていた。改善に向けての取り組みも全員で行われている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営委員会は2ヶ月に1回開催され、利用者やサービスの提供等についての話し合い、意見交換が行われている。評価についての取り組みや地域の理解と支援を得るための話し合い等はまだ行われていなかった。	○	運営推進会議のメンバーには自治会代表者等地域住民の代表者にも参加を呼びかけて、地域の理解と支援を得るための話し合いができる体制づくりが期待される。また、運営推進会議が自己評価や外部評価に関する改善経過のモニター役として機能するよう期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者から運営推進会議の議題に対する資料提供等はなされているが、それ以外は法人内の3ホームを代表して法人対応となっており、当ホームで独自に市担当者との行き来はまだなされていなかった。	○	市に、地域におけるホームの実情を理解してもらうために、市担当者との行き来をして情報の共有に努め、市と共に地域に即したサービスの質の向上を目指す協働関係を築いていかれるよう期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	週1回または2週に1回は家族の訪問がっており、その機会に管理者が直接個人ごとに入居者のホームでの暮らしぶりや健康状態について報告している。また、ホーム独自の「花みずき便り」が定期的に発行され家族に送付されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付箱が設けられている。口頭での意見等は「苦情受付書」が作成され、すぐに改善の取組みが行われるシステムになっている。また、法人で発足している第三者による苦情解決委員会を活用するなど外部者へ表せる機会も設けられている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入居者と馴染みの関係を築いた職員の異動を最小限にとどめるよう配慮がなされている。代わる場合には、経験のある職員を配置するように努められている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、年間教育計画を立て職員の研修参加の機会の確保に努めている。また、職場での実務を通して行う教育方法が取り入れられている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の3グループホームとの交流、相互訪問等が実施され、職員育成やサービスの質の向上が図られていたが、他法人の事業者との交流や連携はまだ行われていなかった。	○	管理者や職員が地域の他法人の同業者と交流の機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動ができるよう取組まれることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得してサービスを利用できるように、入居前に見学をしてホームの雰囲気や暮らしぶりを感じ取ってもらうようにされている。また、入居後は家族と相談しながらそれぞれの入居者に応じた工夫がなされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、入居者と同じゆっくりしたペースで、日々を過ごし、喜怒哀楽を共にしながら、入居者が長年培われた経験や得意なことを発揮してもらい、学び合い支え合う関係づくりに努められている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族からの情報も得ながら、日々の関わりの中で本人の思いや暮らし方の希望や意向を把握するよう努められている。また、職員全員が利用者主体であることを常に認識し合う取り組みがなされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方については、本人、家族、職員等がよく話し合い、その意見や要望を反映した個別のかつ具体的な介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直しを行い、見直し前に状態の変化が生じた場合には、その都度本人、家族、職員で協議を行って現状に即した新たな計画が作成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々入居者の要望を取り入れて、外出支援など、柔軟かつ臨機応変に対応がなされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を大切に、馴染みのかかりつけ医で継続して受診できるよう支援されている。希望により主治医変更の申し入れがあった場合は協力医に主治医を変更するなどの対応がなされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の指針及び看取りに関する指針が定められており、家族に説明が行われている。また、その時々で家族、医師と話し合いをもちながら方針の共有に努めるよう方向づけがなされている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員研修会等で入居者の誇りやプライバシーを損ねない対応のあり方が話し合われ、その徹底が図られている。さりげない言葉かけや誘導など多くの場面で配慮がなされていた。個人情報の保護についても十分に留意した対応がなされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の一人ひとりのペースを大切に、それぞれの体調に配慮しながらその日をどのように過ごしたいか、一人ひとりの希望にそって支援がなされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮剥きなどの調理の下ごしらえ、配膳、後片付けなど一連の流れに入居者の力が発揮されている。職員も入居者と同じテーブルと一緒に食事を楽しみながらさりげない介助が行われている。また、好みの食材を把握し献立に取り入れられている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在は2日に1回の入浴になっているが、希望にそって柔軟に対応がなされている。入浴に要する時間はそれぞれに長短があるが、ゆっくりと楽しんでもらうように努められている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者一人ひとりの生活歴や楽しみごとが把握されており、楽しみごととして生花、歌、散歩、弁当を持っての車ハイクなどがある。また、能力に応じて食材の買物、調理の下ごしらえ、配膳、後片付け、洗濯物たたみなどの場面で、入居者が自発的に役割をこなしておられる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には、戸外の散歩、ドライブ、買物など入居者の一人ひとりの希望にそって随時外出支援が行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が鍵をかけることの弊害を理解されており、日中は鍵はかけられていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防計画が作成されている。年2回地元消防団の協力のもとに消防避難訓練が実施されており、火災報知器、消火器等が常備されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食の食事摂取量、1日の水分摂取量が記録されている。毎月法人の栄養士にメニューをチェックしてもらいバランスのとれた食事を提供するよう努められている。また、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた食事の支援が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には入居者が思い思いにくつろげるようソファやテーブル席、和室等が用意され、調度や装飾は家庭的な雰囲気になっている。生花等が飾られ季節感を感じることができる。二階の居室そばのベランダでは日光浴ができる。居間とトイレが近い距離にあるので消臭には特に留意されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具や馴染みの品が持ち込まれ、思い思いに居心地よく過ごせるようレイアウトされて個性的な居室になっている。安全移動のためのエレベーターが設置されている。		